

第1学年道徳科学習指導案

日 時	令和7年1月28日(火) 第5校時 13:20~14:10
学校名	渋谷区立笹塚中学校
対 象	第1学年1組
会 場	3階 1年1組教室
授業者	主任教諭 竹田 美佳

(1) **主題名** 「本当の思いやり」内容項目 B 思いやり、感謝

(2) **教材名** 「思いやりの日々」

(3) **ねらい** 障害のある人と関わった主人公の気持ちを考えることを通して、本当の思いやりとは何かを理解し、温かい人間愛を深め、誰に対しても思いやりの心をもって生きようとする心情を育てる。

(4) 主題設定の理由

思いやりは、人間関係を円滑にするための重要な要素である。子供たちが社会の中で他者と協力し、共に生きていくためには、他者への思いやりが欠かせない。思いやりを通じて、自分自身の感情や他者の感情を理解し、それを適切に表現する力を育てることができると考え、設定した。

(5) 生徒の実態

穏やかで互いに協力して物事を進めていこうとする意欲のある生徒が多い。運動会や合唱コンクールにおいてもクラスの課題を話し合い、実行委員を中心に、より良いチーム、より良い合唱にしようと取り組んできた。授業の中で話合う場面でも、互いの意見を聞き合い、受け入れる態度が見られる。また、他者を思いやる配慮もあり、海外にルーツのある生徒が転入してきたときも積極的に関わり、教師の指示を手振り身振りを交えて伝えようとしていたり、漢字の書き順を丁寧に書いて教える姿も見られる。互いを尊重し、温かい雰囲気のあるクラスである。

(6) 人権教育の視点

障害のある人と関わった主人公の気持ちを考えることを通して、思いやりとは単に人に何かを施してあげることではないことに気づき、誰に対しても思いやりの心をもって生きようとする心情を育てる。

(7) 本時の流れ

	○学習活動 ・予想される生徒の反応	・人権教育に関わる留意点等 ◆評価
導入	<p>○ 本当の思いやりとは、相手の人にどうすることかについて、考えたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手が喜ぶことをすること。 ・ 相手の心が軽くなるような声をかけること。 ・ 相手が望んでいることをすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が思う「思いやり」について、想起させる。
展開	<p>○ 「思いやりの日々」を範読する。</p> <p>【発問1】なぜ、和威さんは喜美世さんに何でもしてあげようとしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜美世さんが喜ぶと思ったから。 ・ 今まで喜美世さんがしてくれたことのお返しをしたかったから。 ・ 喜美世さんが助かるだろうと思ったから。 <p>【発問2】和威さんが、「私も、手伝おうかしら。」と言った喜美世さんに対して、「ぼくが全部やるから。」と断ったことをどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜美世さんに楽をさせてあげたいと思っているのだから、優しい。 ・ 喜美世さんを思いやって言ったことだから、いいことだと思う。 <p>【発問3】「私も、手伝おうかしら。」と言った喜美世さんに対して、「ぼくが全部やるから。」と断ったことを、和威さんが後悔しているのは、なぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜美世さんの気持ちを尊重していなかったことに気付いたから。 ・ 喜美世さんがしたいことをさせてあげる方が彼女のためだと気付いたから。 <p>【発問4】本当の思いやりには、どのようなことが大切だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の本当の気持ちを知ってから行動すること。 ・ 相手のしたいことを相手の立場になって考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喜美世さんへの愛情あふれる行為であることを理解させる。 ・ 心情円を活用することで、気持ちを可視化させ、和威さんの行為について共感・批判の両面から意見が出るようにする。 ・ グループで出てきた考えをプレゼンテーションソフトで入力し、発表させる。 ・ 相手のためにあえて手助けをしないという行為は、深い愛情が根底になければならない。単純に相手に手助けをしないことが思いやりであると、生徒が考えないように配慮する。 ◆ 「本当の思いやりとは何か」という価値について生徒が理解し、よりよい人間関係を形成しようとしている。 <p>【ワークシート】</p>
終末	<p>○ 日々の生活で、自分が経験した本当の思いやりについて、考えたことを書いて発表する。</p>	